

「研究対象者への通知又は情報公開文書」

東京理科大学では、以下の研究を行います。本研究の対象者に該当する可能性のある方で研究への参加を希望されない場合、又は研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、以下の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究の名称

流山市在宅医療連携拠点事業における流山市住民対象の死亡実態調査

2. 研究の目的

医療・介護の需要が最大と予測される2025年の供給不足問題に対応するために設けられた流山市在宅医療連携拠点事業計画を立てるための基礎データを構築することを目的とする。

3. 研究の対象者

2014年1月1日から2016年12月31日の3年間を対象期間として抽出した千葉県流山市民の死亡小票数

4. 研究の方法と期間

・研究の手順

以下の手順により分析を行う。

1. 死亡小票の市区町村符号及び保健所符号、事件簿番号を用いて死亡票データをマッチングし、死亡票データと死亡小票データの項目を付与したデータセットを作成する。
2. 当該データセットの「原死因符号及び施設の所在地又は医師の住所及び氏名」を用いて、看取り死か否かを判別し、前述のデータセットに当該情報のフラグを付与した分析用のデータセットを作成する。
3. 分析用データセットを用いて、死亡者の属性、死亡場所、看取りを行った医師、死亡原因などについて集計・分析を行う。

・提供いただく情報について

- ・ 予定研究対象者数： 約5000人
- ・ 設定根拠： 2014年1月1日から2016年12月31日の3年間を対象期間として抽出した千葉県流山市民の死亡小票数
- ・ 研究の期間： 承認後 ～ 2021年 3月31日

5. 提供いただく情報の利用目的

流山市在宅医療連携拠点事業の基礎データとして、人口動態調査死亡票や死亡小票データより「看取り死」の集計を行うことで、千葉県流山市民の死亡の実態を把握する。ここでは看取り死を死因が病死・自然死で、診断書が監察医ではない通常の医師によって発行されている死亡と定義する。

6. プライバシーの保護について

既に匿名化されたデータを用いる。情報の管理は東京理科大学が責任をもって行い、情報が漏れることのないよう十分留意する。

7. 研究の資金源や利益相反に関する状況

(1) 研究資金

該当なし

(2) 利益相反について

この研究には、企業や団体は関与しない。企業等との利害関係はないため、利害の衝突によって研究の透明性や信頼性が損なわれるような状況は生じない。

8. お問い合わせ先・研究の実施体制

研究責任者：高嶋隆太

連絡先：takashima@rs.tus.ac.jp